



寒空を彩る
イルミネーション

12月6日、たかくま石蔵館と笠之原町内会公民館でイルミネーション点灯式が行われました。これは、高隈地区コミュニティ協議会と笠之原町内会によりそれぞれ行われたもの。高隈ではジャンベの演奏やサプライズ花火などが、笠之原町では踊りや温かいシシ鍋の振る舞いなどがあり、訪れた人は賑やかな雰囲気の中、冬を彩る景色に見とれていました。



大隅を見守る
木彫りの竜像

12月13日、県民健康プラザ健康増進センター多目的広場で「大隅竜神大祭」の竜像が披露されました。この像は同祭の新たなシンボルとして、寿商店街協同組合が地域の安全を願う市木であるクスノキを使い約1年かけて制作したものです。同組合員の谷川正秀さんは「今後、竜像を保管する彫刻堂建設のための活動を行うので、お力添えをお願いします」と話しました。



全校生徒で
パラスポーツを楽しむ

12月23日、高隈中学校で出張パラスポーツフェスタが開催されました。これは、来年に控えた東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたイベントの一環で行われたもので、全校生徒33人が参加し、競技用車いすとポッチャを体験。参加した加連川楽都さん(2年)は「全学年でとても盛り上がった。ポッチャが特に楽しかった」と語りました。



己の限界に挑戦 &
それぞれの旅立ち

12月6日、霧島ヶ丘公園とその周辺で「第6回かのやサイクルフェスティバル」が開催されました。これは、年齢や性別等の種目別で実施される本格的な自転車レースで、小学生からプロ選手までが激しいレースを展開しました。また、「CIEL BLEU KANOYA」所属の山本さくら選手と堀航輝選手の引退会見が行われ、長きにわたる活躍に対して感謝の拍手が送られました。



看護学生が
刺身づくりに挑戦

12月4日、大隅地区の漁協職員等で構成される大隅地区翔び魚塾主催の「魚のさばき方教室」が鹿屋看護専門学校で開催されました。この教室は、日本人の「魚離れ」が進行している中、家庭で魚を使った料理をする機会を増やしてもらおうと実施されたもの。参加した22人の学生は山道豊塾長からカンパチのさばき方の説明を受けた後、刺身づくりを楽しみました。



輝北町に女子ソフト
ボールチームが誕生

12月18日、女子ソフトボールチーム「MORI ALL WAVE KANOYA」の関係者が市役所を訪れました。これは12月に輝北町を拠点とする同チームが新たに誕生し、来シーズンから日本ソフトボールリーグに加盟することに伴い行われたもの。谷川まき選手兼コーチは「地域に愛されるようなチームになりたい」と抱負を語りました。



鹿屋で練習に励む
若手選手にエール

12月14日、吾平町下名で整骨院を営む豊重正章さんとプロ野球選手4人が市役所を訪れました。これは、12月5日～24日に串良平和公園野球場や屋内練習場などでプロ野球の若手選手8人が豊重トレーナーのもとで合同合宿を行ったことによるもの。各選手の来季の活躍を願い、市から特産品の黒豚を贈呈しました。



鹿屋女子高生が
安全運転を呼び掛ける

12月23日、第一鹿屋中学校前交差点で「交通キャンペーン～鹿屋女子高生によるクリスマス作戦～」が行われました。これは、交通事故が多発する傾向にある年末年始にドライバーへの注意喚起を促すために実施されたもの。参加した生徒は直筆の安全運転を願うメッセージカード配布と交通標語プレート掲げた立哨を行い、安全運転を呼びかけました。



地域住民で賑やかに
20周年を祝う

12月9日・12日、みどりの停車場(串良町下小原)の開設20周年記念行事が行われました。9日にはグラウンド・ゴルフ大会、12日には軽トラ市をそれぞれ開催。グラウンド・ゴルフ大会では参加者220人がプレーを楽しみ、軽トラ市では地元特産品の販売のほか、鉦踊りやハーモニカ演奏も披露されるなど、賑やかな1日となりました。



30年にわたる
地域貢献に感謝

12月15日、「鹿屋市地域定着企業表彰」が行われました。これは、市内に立地してから30年を迎えた立地企業に対して行われているもので、今年度は三和ベルディ株式会社(札元1丁目)を表彰。平成2年に設立された同社は、これまで茎頂培養苗の生産や優良種苗の開発等に取り組み、今後も生産者のパートナーとして市の農業振興への貢献が期待されます。



拉致問題解決へ向け
署名簿と募金を贈る

12月17日、市役所で、北朝鮮による拉致被害者・特定失踪者とその家族を支援するための署名簿と募金が、拉致被害者家族の市川健一さんらに手渡されました。この署名・募金は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に合わせて市民などから寄せられたもの。市川さんは「とてもありがたい。強い意志を持って頑張りたい」と話しました。



吾平中野球部
九州大会で準優勝

12月10日、吾平中学校野球部の選手・関係者らが市役所を訪れました。これは、11月に福岡県で開催された第2回九州少年軟式野球大会において、準優勝の成績を収めたことにより行われたもの。富添翔主将(2年)は「地域の方々の支えのおかげで準優勝することができた。次の大会でもいい成績を残したい」と今後の目標を話しました。